



テクニカル・メッセージ

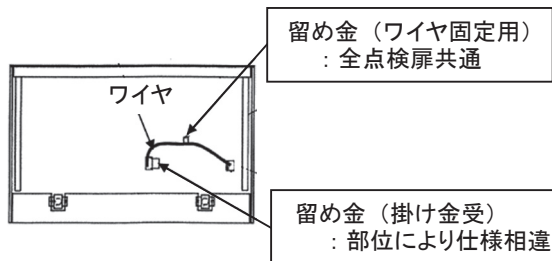
大型路線バス HL車・KV車 中型路線バス KR車 点検扉固定用ワイヤ留め金剥がれ時の修理方法について

点検扉固定用ワイヤ留め金を単品補給で出荷できるようにしましたので品番をご連絡致します。また、剥がれた場合の修正方法についてもあわせてご連絡申し上げます。

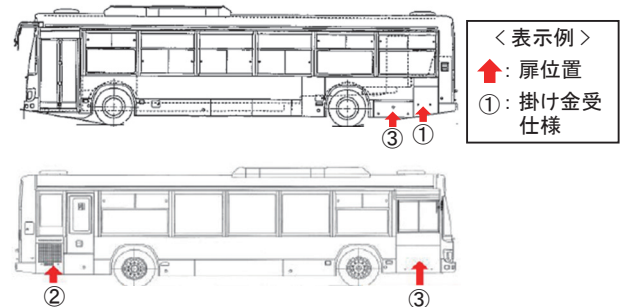
■ 対象車型

HL車、KV車、KR車

■ 点検扉内固定用ワイヤ取り付け状態



■ 点検扉部位と留め金の仕様



■ 留め金の品番

留め金名称	部品番号	備考
ワイヤ固定用受	46323-33830	全扉共通
掛け金受 仕様①	46323-23270	エンジン側部扉 (部品の幅 30mm)
掛け金受 仕様②	46323-29610	ラジエタ側部扉 (部品の幅 20mm)
掛け金受 仕様③	46323-34170	バッテリー扉、右側第一窓下扉

■ 留め金の取り付けについて

下記の接着剤で留め金を扉に貼り付けてください。

名称	部品番号	使用個数	備考
ペガロック	9450-200G	1	200g 入り

【留め金の貼り付け要領】

- 扉と留め金の接着面に残っている接着剤はヤスリ等を使用し剥がしてください。
- 接着面の埃、汚れ、錆などを取り除いてください。
- 接着面を脱脂してください。
- ペガロックA剤、B剤を小皿に取り、混ぜ合わせてください。

<注意>

- 混ぜすぎるとダマになってしまうため、混ぜる際は5~6回としてください。
 - 混ぜるとすぐに硬化が始まるので、速やかに取り付けを行ってください。
- 留め金に手順4で混ぜ合わせたペガロックを塗布してください。その際、右図のように留め金の端部全周から接着剤がはみ出すまで塗布してください。
 - 留め金を扉側に押し当てて接着してください。
 - 接着後は振動を与えず、3時間以上放置してください。

<注意>

剥がれの原因となるため放置している際はワイヤ掛け、開扉は行わないでください。

<接着剤塗布のイメージ>

